



赤十字とつながる“人”シリーズ

第2回 姫路赤十字看護専門学校2年 多田あかねさん

私が看護師になると思ったきっかけは、母親の影響でした。私がまだ小さかった頃、看護師である母親が仕事をしている姿を何度か見て、看護師という職業に興味を湧き、看護師になりたいと思うようになりました。姫路赤十字看護専門学校を選んだ理由は、災害救護に興味があり、カリキュラムに赤十字救急法や災害看護論などがあったからです。年齢も性別も違う人々と関わることができる看護という仕事に着かれました。また姫路赤十字看護専門学校学生奉仕団が取り組んでいる献血活動やボランティアを通して社会性を身につけたいと思ったからです。

現在は、疾患についての知識や看護を勉強しています。座学だけでなく、実習室でロールプレイをしたり、グループワークなどを行ったりして学びを深めています。また、赤十字看護専門学校学生研修を7月に控え、「赤十字の一員として今自分たちにできること」というテーマでグループワークに取り組んでいます。自分たちの考えたことを、本社研修の際に、他校の学生にも伝えられるように頑張っています。

私は将来、進学をして助産師になりたいと思っています。高校生の頃から、なりたいと思っていましたが、一年生の時に母性看護学の講義を受け、ますますその気持ちが強くなりました。そのためにも、学生の間に多くのことを学び、知識を増やし、技術を磨いていきたいと思えます。5月20日の神戸まつりのパレードにも参加させていただきました。多くの人から手を振っていただいたり、カメラを向けていただきました。これだけ多くの人々に、赤十字の存在を知ってもらえているのだと実感しました。今後もこの学校で多くのことを学び、体験し、自分の夢をかなえるために頑張りたいと思います。



姫路赤十字看護専門学校 全国看護学生作文コンクールで入賞！！

第9回 全国看護学生作文コンクールの選考結果が5月中旬に発表されました。今回も2200作品を超えるたくさんの応募があったそうです。姫路赤十字看護専門学校では5年前の第4回より3年生が卒業前に全員が応募しています。昨年までの5回で8名が佳作に入賞しましたが、今回、読売新聞社賞、さわ研究所賞、佳作に入賞し、1次審査通過作品が最多として同校が最優秀団体賞を受賞しました。読売新聞社賞、さわ研究所賞、最優秀団体賞の表彰式が、6月9日(土)に東京駅日本橋口前にある(株)さわ研究所東京校で行われ、トロフィーと表彰状が贈られました。

読売新聞社賞: 瀧北 真衣「相手の立場に立って考える」
さわ研究所賞: 渡辺 美奈「笑顔の可能性」
佳作: 鹿山 由紀恵「祖父母が教えてくれたこと」
最優秀団体賞: 姫路赤十字看護専門学校



また、昨年より学内で学校長賞、事務部長賞、教職員賞を選考しています。入賞者は、7月7日(土)に姫路赤十字看護専門学校で開催されるホームカミングデーで表彰予定です。

郵便局・ゆうちょ銀行からご協力いただけます

口座記号番号:01110-0-1136
口座加入者名:日本赤十字社兵庫県支部
※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。

いのちと健康を守る赤十字活動は
皆さまから寄せいただく活動資金で成り立っています。
活動資金にご協力をお願いします



平成30年度赤十字ポスターコンクールのご案内

「いのちを守る赤十字の活動」を描いてください!

募集対象およびテーマ

- ①小学校の部(テーマ:赤十字のお仕事)
- ②中学校の部(テーマ:赤十字の「病院事業」「血液事業」
「看護師などの教育」「救急法などの講習」)
- ③高等学校の部(テーマ:赤十字の「災害救護活動」
「国際活動」)
- ④特別支援学校の部(テーマ:上記区分と同様)
※ハートラちゃんを使って描いてもOKです♡



平成29年度 最優秀作品

応募が切

平成30年9月14日(金)まで ※当日消印有効

詳しい応募要項はこちら ▶ <http://www.hyogo.jrc.or.jp/> 赤十字 兵庫 検索

講習のご案内

赤十字基礎講習 (1日の講習)	8月18日(土) 13:00~17:30 9月1日(土) 13:00~17:30
救急法基礎・救急員養成講習 (3日間の講習)	8月19日(日)・25日(土)・26日(日) 9:30~17:30(初日は13:00~17:30) 10月20日(土)・27日(土)・28日(日) 9:30~17:30(初日は13:00~17:30)
水上安全法救助員II養成講習 (3日間の講習)	9月15日(土)・16日(日)・17日(月・祝) 9:00~17:00(最終日は9:00~15:00) 場所:アジュール舞子浜
幼児安全法支援員養成講習 (2日間の講習)	11月3日(土・祝)・4日(日) 9:30~17:30
健康生活支援講習支援員養成講習 (2日間の講習)	12月22日(土)・23日(日・祝) 9:30~17:10(初日は9:30~16:30)

※申込期日は開催日(初日)の1ヵ月前までです。

■科目別講習(講習の一部のテーマを短時間で習得できます)

赤十字健康生活支援講習	地域で支える認知症	9月8日(土) 9:30~11:30
赤十字幼児安全法	乳幼児の一次救命処置	9月22日(土) 9:30~11:30

■ミニ講習のご案内

9/1(土) 10:00~15:00 救急法ミニ講習(ブルメール舞多間)



お問い合わせは、お電話またはホームページで

Tel.078-241-1499

4月号の記事の訂正について

【ひょうごの赤十字4月号】に掲載いたしました記事「史料展示室をリニューアルしました!」において、漢字の誤りがございました。「救護医療」は誤りで、正しくは「救護器械」です。以上のように訂正し、ここに謹んでお詫び申し上げます。

※隔月(奇数月)に発行しています。



〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番5号 TEL.078-241-9889 FAX.078-241-6990

赤十字 兵庫 検索 <http://www.hyogo.jrc.or.jp/>

ひょうごの赤十字 7月号 [2018年(平成30年)7月1日発行]



ひょうごの
赤十字+

2018

7

いのちと健康を守る活動に
ご協力感謝いたします。

- 第4ブロック合同災害救護訓練を実施
- 救急医薬品の設置を委託
- 第48回神戸まつり「おまつりパレード」に参加
- 平成30年度第1回評議員会を開催
- 姫路市地区赤十字のついで
- 全国看護学生作文コンクールで入賞!

第4(近畿2府4県)ブロック合同災害救護訓練を実施

6月2日、大阪赤十字会館と大阪城公園「太陽の広場」において、広域大規模災害時の対応能力の向上と協力体制の構築を目的として、日本赤十字社第4(近畿2府4県)ブロックの支部や赤十字病院をはじめ、赤十字奉仕団や防災ボランティア、赤十字看護専門学校、大阪市消防局などおよそ600人が参加し、実施されました。

訓練想定は、2日前に、上町断層帯(北部)を震源とするマグニチュード7.8の直下型地震が発生し、大阪市内では16万棟の建物が倒壊し、35万人の住人が避難生活を強いられているという設定のもと、救出現場における救護所の運営と避難所のアセスメントを、大阪府保健医療調整本部から日本赤十字社に要請されたところから、訓練が始まりました。

大阪城公園「太陽の広場」に立ち上げたdERU(緊急対応ユニット)で活動した救護班は、次々と救急隊に搬送されてくる傷病者の対応に追われ、反省会で「救護所内の導線や役割分担が次第に混乱してしまった」という点について、評価医師から「災害現場では、初対面のチームと一緒に協力して活動することになり、普段の医療現場での『あうんの呼吸』というものが期待できないため、チームビルディングにおいて役割分担をきっちりと決めておいたほうがスムーズに動けるのでは。」との助言が

ありました。

また、傷病者役の姫路赤十字看護専門学校生からは、「看護師さんから、その都度、『今から〇〇の処置をしますね。』などの声掛けがあったのですごく安心感があった。自分自身の勉強にもなりました。」との感想が聞けました。

大阪赤十字会館に設置した避難所では、医療救護班のアセスメントの他、赤十字ボランティアによるダンボールトイレなどの設置や、衛生環境および就寝環境を改善するための活動を行いました。

6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震への対応について



大阪府北部で起きたマグニチュード(M)6.1、最大震度6弱の地震被害に対し、当日の13時に日本赤十字社兵庫県支部からも大阪府支部へ救護班を派遣しました。



救急隊との連携も訓練のテーマの一つです



外国人傷病者には、通訳アプリを駆使して問診を実施



患者家族へのごころのケアを行う看護師

神戸まつり「おまつりパレード」に参加しました♪

数日前までは天候が心配されましたが、5月20日、晴天のもと開催された第48回神戸まつり「おまつりパレード」に兵庫県支部が参加し、赤十字活動への理解と協力を呼びかけました。

パレードへは、5月の赤十字運動月間のPR活動の一環として毎年参加しており、神戸まつりの今年の合言葉「かがやいて神戸 きらめいて笑顔」と、日本赤十字社の「救うことを、つづける」をテーマに掲げPRしました。

装飾車両や大きな赤十字バルーン、救急車や献血バスなどの赤十字車両とともに、姫路赤十字看護専門学校学生や特別赤十字奉仕団員、支部・施設職員総勢72人が、赤白の風船やプラカードを持ち、元気いっぱいに行進。今年は、日本赤十字社の公式マスコットキャラクターであるハートラちゃんも参加し、沿道の皆さんも笑顔に。

沿道から手を振っていただいたり、笑顔を返していただくなど、参加した私たちも楽しくPRすることができました。



神戸市中央区のフラワーロードをパレード



初出場のハートラちゃん♡



青空に映え、注目を集めた赤十字バルーン



姫路市地区赤十字のつどい参加者の声

5月9日イーグレひめじにて、「平成30年度姫路市地区赤十字のつどい」が開催され、58名の姫路市赤十字奉仕団員が参加しました。本つどいでは、AEDを使った心肺蘇生や骨折の手当等の赤十字救急法講習と、アルファ米の炊出し訓練が行われました。奉仕団員からは「毎年参加しているが、記憶が曖昧になっている部分もあり、参加する度に確認ができてよいと思う。」「日常生活の中で、防災等を意識することは少ないが、研修会に参加することによって、普段から備えておくことの重要性を感じることができる。」などの感想がありました。また、炊出し訓練におけるアルファ米(五日・ドライカレー)の試食では、「味のバリエーションが豊富なので飽きない。自宅にも備蓄しておきたい。」といった声が聞けました。



救急医薬品の設置を委託

～県民の皆さまの安全安心な暮らしのために～

5月22日、県民の皆さまの安全安心な暮らしのために役立てていただこうと、救急医薬品の、交番等への設置について兵庫県警察に委託しました。兵庫県支部が昭和33年度から設置委託を始めた救急箱は、昨年度は388件の交通事故やケガなどの応急手当に役立っており、利用者からも感謝の声をいただいています。設置後は毎年医薬品の補充を行っています。委託式では大久保事務局長から兵庫県警察の西影地域部長に救急医薬品セットが手渡されました。大久保事務局長は「県民の皆さまの安全安心のために、日赤と県警が協力して実施しているこの事業をこれからも続けていきたい」と話しました。



西影地域部長へ救急医薬品セットを手渡す大久保事務局長(左)

平成30年度評議員会(第1回)を開催

6月7日、平成30年度第1回目の評議員会を開催しました。開催にあたり井戸支部長は「日赤の大きな役割として災害時の救援活動がありますが、県でも、梅雨どきの集中豪雨に備えて事前対策を行ったところ。海外支援については、国際赤十字からの要請でバングラデシュ等に職員を派遣しています。また、JICA関西がHAT神戸にありますので、いろんな面で連携していきたいと考えています。」と挨拶しました。平成29年度の事業報告に続き、平成29年度兵庫県支部一般会計および管下医療施設特別会計歳入歳出決算について審議が行われ、承認されました。



井戸支部長の挨拶の様子